

II 住民基本台帳人口(日本人住民)による社会動態

1 概 要

平成 25 年の社会動態は、市外からの転入が 4 万 7,035 人、市外への転出が 4 万 2,938 人で、4,097 人の転入超過となりました。

これを地域別にみていくと、仙台都市圏内の他市町村及び東京圏に対して転出超過となっています。また、仙台都市圏以外の市町村及び東北 5 県、その他の地方に対しては転入超過となっています。

この結果、区間移動と職権記載等の「その他増加数」を加えた社会増加数は 4,728 人で、社会増は前年の約半分に縮小しました。

(表 2、図 6、統計表第 2、3 表)

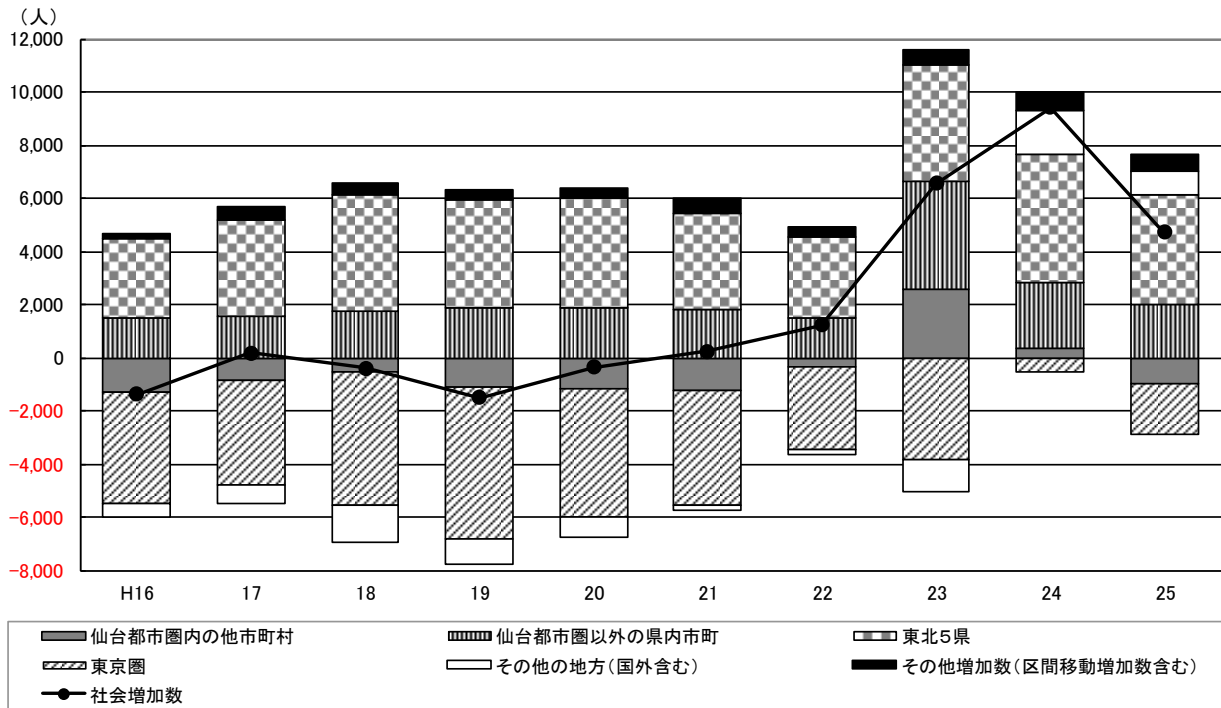
表 2 市外との移動：転入数、転出数、社会増加数の推移—全市（平成 16 年～平成 25 年）

(単位：人)										
地 域	平 成 16 年	17	18	19	20	21	22	23	24	25
転 入 数	49,372	49,340	49,112	47,874	47,128	45,295	43,976	49,914	49,547	47,035
宮城県	12,083	12,128	12,495	12,247	11,978	11,336	11,362	16,179	11,986	11,708
仙台都市圏内の他市町村	5,898	5,952	6,236	6,019	5,911	5,613	5,842	8,272	5,965	5,778
" 以外の市町	6,185	6,176	6,259	6,228	6,067	5,723	5,520	7,907	6,021	5,930
東北5県	16,021	15,973	16,317	15,460	14,821	14,051	13,048	14,237	13,963	13,525
東京圏	10,878	11,216	10,649	10,504	10,848	10,505	10,659	9,936	12,361	11,210
その他の地方(国外含む)	10,390	10,023	9,651	9,663	9,481	9,403	8,907	9,562	11,237	10,592
転 出 数	50,925	49,682	49,944	49,712	47,917	45,636	43,085	43,983	40,782	42,938
宮城県	11,913	11,443	11,272	11,522	11,287	10,783	10,201	9,519	9,176	10,693
仙台都市圏内の他市町村	7,202	6,817	6,790	7,158	7,116	6,857	6,186	5,672	5,592	6,752
" 以外の市町	4,711	4,626	4,482	4,364	4,171	3,926	4,015	3,847	3,584	3,941
東北5県	13,026	12,346	11,955	11,369	10,736	10,420	10,003	9,902	9,091	9,380
東京圏	15,074	15,175	15,654	16,195	15,627	14,798	13,780	13,796	12,925	13,147
その他の地方(国外含む)	10,912	10,718	11,063	10,626	10,267	9,635	9,101	10,766	9,590	9,718
社会増加数	△ 1,553	△ 342	△ 832	△ 1,838	△ 789	△ 341	891	5,931	8,765	4,097
宮城県	170	685	1,223	725	691	553	1,161	6,660	2,810	1,015
仙台都市圏内の他市町村	△ 1,304	△ 865	△ 554	△ 1,139	△ 1,205	△ 1,244	△ 344	2,600	373	△ 974
" 以外の市町	1,474	1,550	1,777	1,864	1,896	1,797	1,505	4,060	2,437	1,989
東北5県	2,995	3,627	4,362	4,091	4,085	3,631	3,045	4,335	4,872	4,145
東京圏	△ 4,196	△ 3,959	△ 5,005	△ 5,691	△ 4,779	△ 4,293	△ 3,121	△ 3,860	△ 564	△ 1,937
その他の地方(国外含む)	△ 522	△ 695	△ 1,412	△ 963	△ 786	△ 232	△ 194	△ 1,204	1,647	874
※参考										
その他増加数	178	530	429	338	423	582	341	609	654	631
" を含む社会増加数	△ 1,375	188	△ 403	△ 1,500	△ 366	241	1,232	6,540	9,419	4,728

(△は転出超過数)

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等のほか、市内区間移動増減数が含まれています。

図6 転出入超過数の地域別内訳 (平成16年～25年)

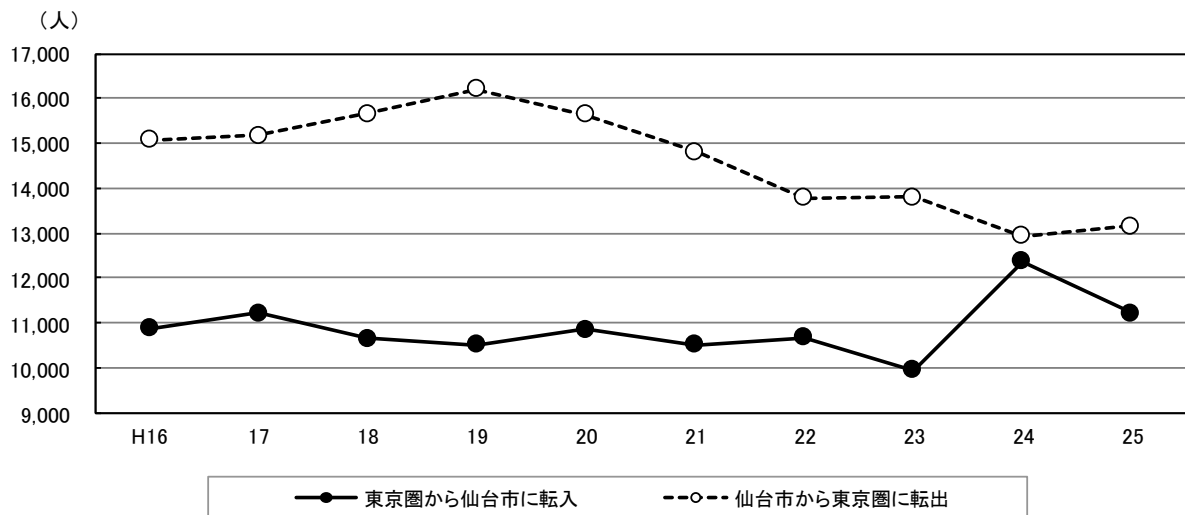


2 東京圏に対する人口移動

東京圏に対する人口移動は、転入数が11,210人、転出数が13,147人で、1,937人の転出超過となりました。

(表2、図6、7、統計表第2表)

図7 東京圏との転出入者数 (平成16年～25年)

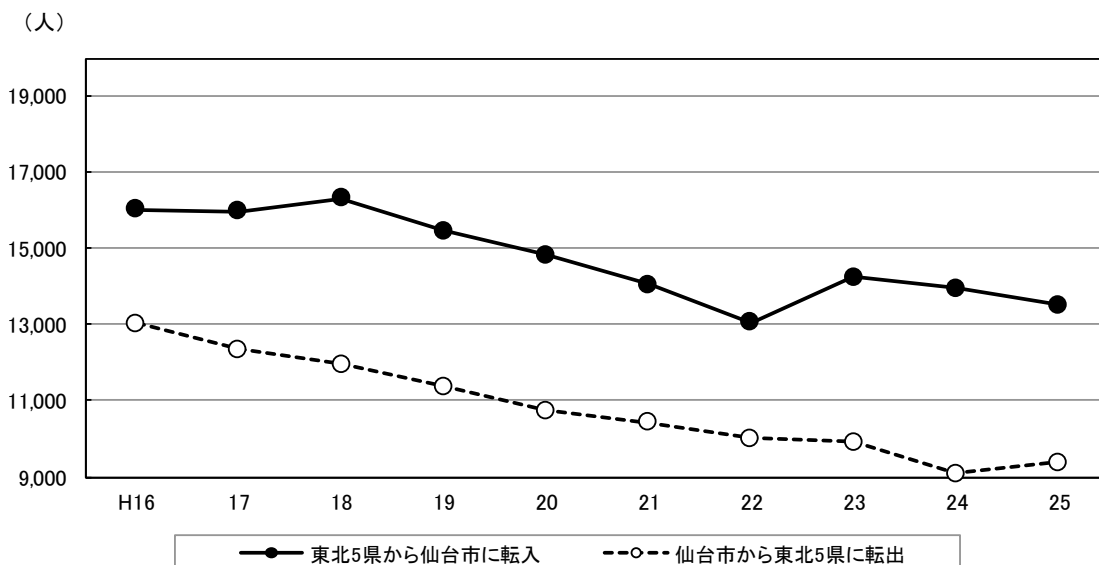


3 東北5県及びその他の地方（国外含む）に対する人口移動

東北5県に対する人口移動は、転入数が1万3,525人、転出数が9,380人で、4,145人の転入超過となりました。

(表2、図6、8、統計表第2表)

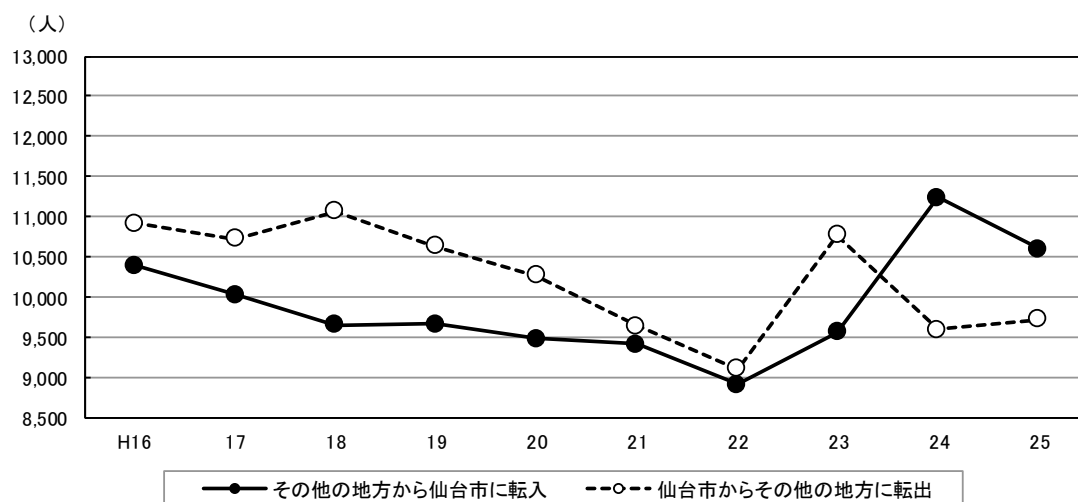
図8 東北5県との転出入者数（平成16年～25年）



その他の地方（国外含む）に対する人口移動は、転入数が1万0,592人、転出数が9,718人で、874人の転入超過となりました。

(表2、図6、9、統計表第2表)

図9 その他の地方との転出入者数（平成16年～25年）

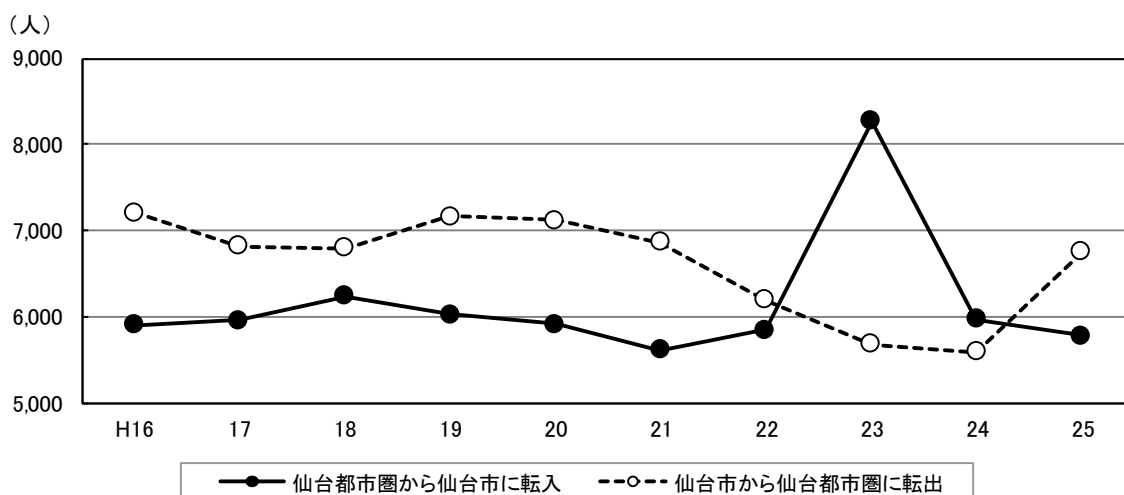


4 県内他市町村に対する人口移動

仙台都市圏内の他市町村に対する人口移動は、転入数が5,778人、転出数が6,752人で、転出が転入を974人上回り、平成22年以来3年ぶりの転出超過となりました。市町村別の内訳をみると、転入超過となっているのは8市町、転出超過となっているのは5市町村となっています。

(表2、図6、10、統計表第3表)

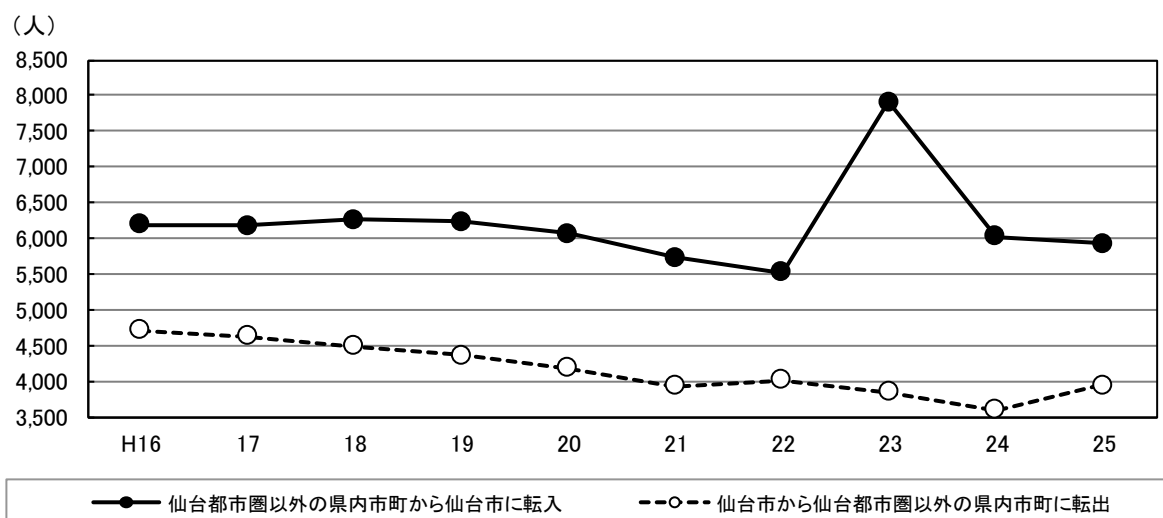
図10 仙台都市圏との転出入者数(平成16年~25年)



仙台都市圏以外の県内市町に対する人口移動は、転入数が5,930人、転出数が3,941人で、1,989人の転入超過となりました。

(表2、図6、11、統計表第3表)

図11 仙台都市圏以外の県内市町との転出入者数(平成16年~25年)

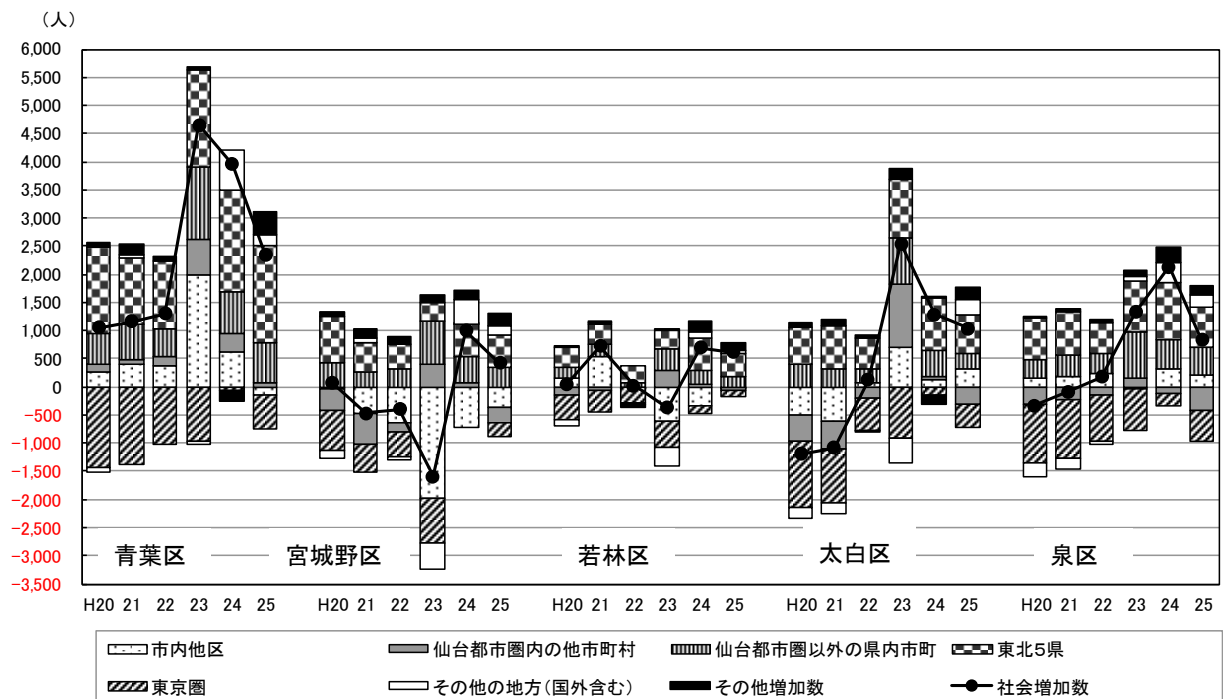


5 区別の社会動態

平成 25 年の区別社会動態は、全区で社会増となりました。その内訳について、次のような点が特徴として挙げられます。

- ① 市内他区に対しては、太白区と泉区で転入超過。他 3 区は転出超過。
- ② 県内市町村に対しては、太白区で転出超過。他 4 区で転入超過。
- ③ 東北 5 県に対しては、全区で転入超過。
- ④ 東京圏に対しては、全区で転出超過。
- ⑤ その他の地方に対しては、全区で転入超過。

図 1 2 地域別社会増加数（転入数－転出数）－区（平成 20～25 年）



(表 3、図 1 2、統計表第 4 表)

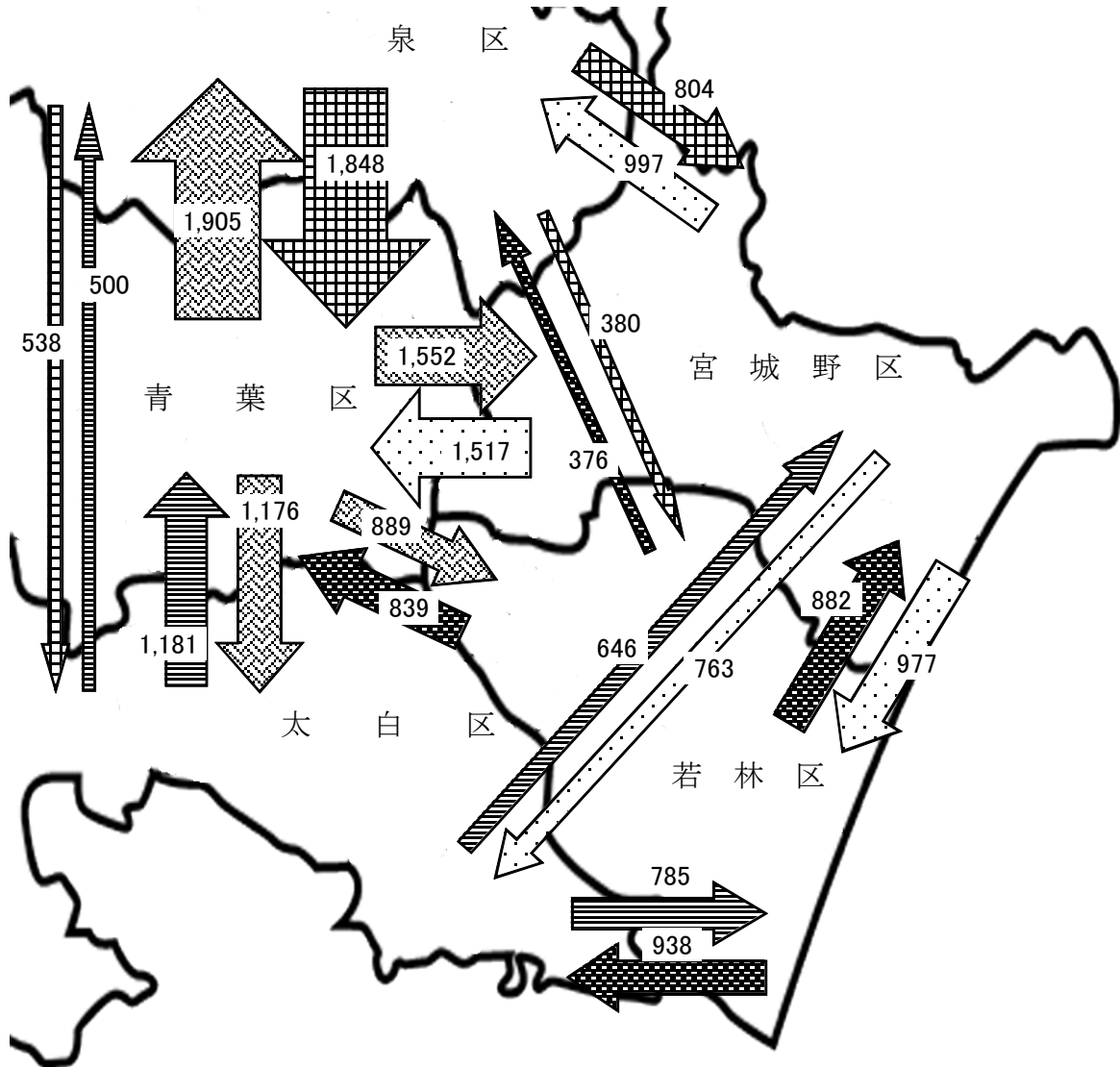
表3 社会増加数の地域別内訳一区（平成20年～25年）

（単位：人）

区、年次	社会 増加数	市内 他区	宮城県		東北 5県	東京圏	その他の 地方 (国外含 む)	その他 増加数	
			仙台都市 圏内の 他市町村	仙台都市 圏以外の 市町					
青葉区									
平成20年	1,046	275	669	122	547	1,550	△ 1,422	△ 98	72
21	1,160	389	715	85	630	1,184	△ 1,385	65	192
22	1,303	369	666	172	494	1,198	△ 1,028	0	98
23	4,654	1,983	1,911	639	1,272	1,724	△ 974	△ 58	68
24	3,953	628	1,059	329	730	1,797	△ 75	715	△ 171
25	2,356	△ 133	776	84	692	1,742	△ 611	173	409
宮城野区									
平成20年	66	△ 32	32	△ 388	420	825	△ 718	△ 140	99
21	△ 473	△ 470	△ 294	△ 548	254	544	△ 490	66	171
22	△ 399	△ 635	157	△ 167	324	438	△ 436	△ 60	137
23	△ 1,594	△ 1,981	1,168	402	766	333	△ 789	△ 465	140
24	995	△ 720	534	78	456	569	13	427	172
25	423	△ 368	70	△ 271	341	587	△ 249	157	226
若林区									
平成20年	48	147	54	△ 145	199	347	△ 429	△ 113	42
21	718	546	147	△ 61	208	371	△ 393	19	28
22	30	△ 2	70	△ 12	82	303	△ 259	△ 31	△ 51
23	△ 376	△ 624	683	286	397	313	△ 465	△ 329	46
24	689	△ 337	292	32	260	562	△ 143	120	195
25	618	△ 4	132	△ 57	189	406	△ 112	53	143
太白区									
平成20年	△ 1,199	△ 493	△ 69	△ 475	406	639	△ 1,168	△ 207	99
21	△ 1,080	△ 603	△ 188	△ 499	311	774	△ 972	△ 190	99
22	118	62	50	△ 204	254	542	△ 565	△ 43	72
23	2,537	700	1,934	1,127	807	1,055	△ 913	△ 436	197
24	1,285	133	507	54	453	933	△ 135	35	△ 188
25	1,042	306	△ 28	△ 308	280	683	△ 417	279	219
泉区									
平成20年	△ 327	162	5	△ 319	324	724	△ 1,042	△ 228	52
21	△ 84	182	173	△ 221	394	758	△ 1,053	△ 192	48
22	180	234	218	△ 133	351	564	△ 833	△ 60	57
23	1,319	△ 44	964	146	818	910	△ 719	84	124
24	2,135	307	418	△ 120	538	1,011	△ 224	350	273
25	826	212	65	△ 422	487	727	△ 548	212	158

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等が含まれています。

図13 区間人口移動（平成25年 転入ベース）



転入ベースで区間相互における人口移動をみると、最も人口移動が多いのは、青葉・泉区間で3,753人(=1,905人+1,848人)となっています。逆に最も人口移動が少ないのは、泉・若林区間で756人(=380人+376人)となっています。(図13)

転入・転出の差し引きによる、区別の対市内各区社会増減をみると、青葉区は太白区を除く全ての区に対して転出超過で、全体では133人の転出超過となっています。宮城野区は青葉区を除く全ての区に対して転出超過で、全体で368人の転出超過となっています。若林区は太白区に対して転出超過で、全体では4人の転出超過となっています。太白区は青葉区を除く全ての区に対して転入超過で、全体では306人の転入超過となっています。泉区は青葉区、宮城野区に対して転入超過で、全体では212人の転入超過となっています。また、相互間の移動数に最も差があるのは宮城野・泉区間の移動で、泉区は193人(=997-804)の転入超過となっています。

(表3、統計表第4表)